

浜松市の現行の行政区



行政区再編の検討を進めている浜松市は2日までに、議論のたたき台となる新たな区割りの素案をまとめた。現行の7区を2〜3区に再編する6パターンに集約した。今後、市議会の行政改革・大都市制度調査特別委員会に提示し、10月にも市民に公表する原案策定に向けて本格的な協議をスタートさせる。複数の関係者への取材で分かった。

(浜松総局・塩見和也)

浜松市が区再編6案

旧市域統合軸、2〜3区に

市議会提示へ

浜松市がまとめた行政区再編の素案

案	区数	再編の方法
A	2区	・中+東+西+南+北+浜北 ・天竜
B	2区	・中+東+西+南 ・北+浜北+天竜
C	2区	・中+東+西+南+北 ・浜北+天竜
D	3区	・中+東+西+南 ・北+浜北 ・天竜
E	3区	・中+東+南+浜北 ・西+北 ・天竜
F	3区	・中+東+西+南+北 ・浜北 ・天竜

同市は現在、中、東、西、南、北、浜北、天竜の各行政区に分かれている。関係者によると、市は現行の行政区を分割せず、合区する方法を基本に素案を検討。旧浜松市地域は可能な限り統合し、住民に身近な区の出先機関の機能を拡充することも前提条件とする考え。

素案には「2区」と「3区」で3通りずつの組み合わせを盛り込んだ。「2区」案はA案「①天竜区②残りの6区」▽B案「①中+

東+西+南②北+浜北+天竜」▽C案「①中+東+西+南+北②浜北+天竜」とした。「3区」案はD案「①中+東+南+浜北②西+北③天竜」▽E案「①中+東+西+南+北②北+浜北③天竜」▽F案「①中+東+南+浜北②西+北③天竜」とした。

「浜北③天竜」を候補に挙げた。市が2016年2月に策定した工程表によると、新たな区割りの原案は17年9月までに取りまとめるとしている。原案段階では、複数の区割り案を示す見込み。その後、市民や市議会の意見を聞き、最終案を固め、幅広い意見が出される2月に再編の是非を決める方針。

市議会特別委はこれまで合併の検証や住民自治、行政サービスの在り方を協議してきた。今後は、市の素案を基に新たな行政区やサービスの提供体制について議論を深めていく見通し。委員からは現行の7区維持を含め、幅広い意見が出されるとみられる。